



BY KATHY LIEN

今日のFXマーケット 01.30.12  
(2012年1月31日発行)

**EUR: EU サミット重要問題を先送り**

EU サミットはまたしてもマーケットの失望を買った。欧州首脳は原則論に固執し、改革への道筋を示すことはできなかった。EU 当局者がいつまで現実問題から目を逸らし続けるのか、投資家の懸念は強まるばかりだ。確かに将来の危機回避と長期的経済成長に向けた基礎工事を立派に行っているが、この地域が最も必要とするのは、EU 首脳がギリシャとポルトガルのデフォルトを阻止することである。彼らが認めるか認めないかに拘わらず、ギリシャ問題は強い感染力を内包する。同時に二国の支援を行う事態を回避するためには、EU 当局者はより積極的にギリシャ PSI 交渉に関与しなければならない。来る日も来る日も、ギリシャは IIF との合意を拒んでマーケットを人質に取り、投資家は交渉の膠着に匙を投げ出そうとしている。ギリシャのパパンドレウ首相は「債務交渉に重要な進展があった」と述べたが、もはや聞く耳を持つ人は少ない。週末にも何らかの合意が発表されるとの観測もあったが、結局 EU サミットはギリシャ問題に一切の結論を出さないまま終了した。唯一の合意事項は、若者の雇用促進と中小企業支援のため、未使用の既存資金を再活用することのみであった。2月にもギリシャ問題に関する臨時サミットを開催するとの話も聞かれるが、これまで多くの場合そうであったように、具体的な裏付けは一切ない。しかし今日反落したとはいえ、EUR/USD への需要およびマーケットのリスク選好は、驚くほどに根強い。背景の一つには、時間の経過に連れ、ギリシャはいずれ3月までに債権者と何らかの合意に到達せざるを得なくなるとの、市場の認識がある。より良い条件を求めて交渉の長期化を図ろうとも、窮状は悪化の一途をたどり、最終的には屈服を余儀なくされるだろう。また先週 EUR/USD のショートポジションが史上最高水準に達したことで、ショート巻き戻しの動きも続いている。もし火曜日に発表されるドイツの小売売上高と失業率が事前予測を上回る改善を示せば、EUR/USD は再び上昇するだろう。好調な経済指標の発表は、ユーロ圏のリセッション入り懸念を緩和する。しかし残念なことに、今のところ ECB はリセッション回避を確信するに至っていない。ECB 政策委員会のノボトニー委員は、今年「ユーロ圏全体でスタグネーション、または何れかの時点でリセッション入り」もあり得ると述べた。当社もまた同意見である。当社は同時に、ポルトガルの状況を注視している。現在同国の CDS スプレッドは、デフォルトの確立が 70%あることを示している。16%に急接近している同国 10 年物国債の利回りが更に上昇を続ければ、事態の一層の悪化は不可避である。

**USD: 米ドルが反発**

ここにきてリスク選好が改善したことで、米ドルはすべての主要通貨に対して大幅に値を下げた。しかし今日米ドルは全面高となったが、唯一の例外が日本円だった。これで USD/JPY は三日連続の下落となり、二カ月来の安値を付けた。仮にこれが 80 円近辺であれば問題はなからうが、現実には史上最安値に極めて近く、日銀も財務省も緊張の面持ちで市場を注視していることだろう。今日発表された米国の経済指標は、まちまちであった。個人所得は 0.5%増加し、事前予測を上回った。個人消費支出は前月と不変だった。これは小売部門にとっては良くないニュースだが、家計にとっては歓迎すべき現象である。アメリカ国民は消費を抑えて貯蓄に励む必要があり、今日発表された指標がまさにその方向性を示唆したからだ。インフレ指標としてのコア PCE (個人消費支出) デフレーターは、0.2%と小幅上昇した。明日は住宅価格、消費者信頼感指数、およびシカゴ PMI が発表される。好調な指標の発表は、米ドルよりもリスク選好にとって好材料となるだろう。FRB が長期にわたる金融緩和と政策の維持を確約したことで、投資家はドル買いではなく、ドル売りの口実を探している。

外国為替保証金取引や、CFD、デリバティブその他のレバレッジ取引には高いレベルのリスクが潜在しており、預託した資金を超えて損失を被る可能性もあるため、全てのお客様に適用している投資商品とは言えません。本レポートの内容は

- 情報提供の目的のみ供されるものとし、いかなる投資商品の提供・勧誘その他法的に拘束され得る行為、また、それら投資商品の推奨、助言等を意図したものではありません。
- マーケットに関する意見・予想はその正確性や完全性についてそれらを保証するものではありません。
- レポート著者の予想・意見は必ずしも、弊社及び弊社関係者の見方を反映したものではありません。
- 当社は本レポートの内容に依拠してお客さまが取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。

弊社及び著者は投資サービス、法律サービス、会計・税制サービスあるいはその他のプロフェッショナル・サービスは提供しておらず、そのような必要が生じた際は適切なプロフェッショナルからサービスの提供を受けてください。同支店は、日本においては、グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッドとして第一種金融商品取引業者登録（関東財務局長（金商）第 268 号）および商品先物取引業者許可を取得しており、社団法人金融先物取引業協会および日本商品先物取引協会の加盟業者です。[www.gftforex.co.jp](http://www.gftforex.co.jp) ©2012 グローバル・フューチャーズ・アンド・フォレックス・リミテッド 著作権/著作権所有。無断複製・複製・転載を禁ず。GD08J.006.011212